



いのちにやさしいまちづくり

Neko-Dasuke 第12号

Neko-Dasuke <http://nekodasuke.main.jp>

会報紙「ねこだすけニュース」次号発行迄の合間に、さまざまな出来事の一部です。



2025令和7年12月 こぼればなし 12号

NPO ねこだすけ 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203
Tel.&Fax.03-3350-6440

上梓された書籍をいただきました。
「みんなで見守る地域猫・命をつなぐ獣医師の挑戦」高橋うらら著／取材制作協力写真提供：黒澤泰（港区みなと保健所動物政策監）：高松純子（台東区台東保健所愛護動物管理）／金の星社発行（2025年9月）1650円税込



11月27日・28日の両日「所沢市みづかな生活環境パネル展」市役所市民ホールにて開催。

ロビースペースにたくさんさんのパネルや写真などを展示、多くのみなさまが足を止めてご覧になっていました。

「地域猫活動について」「幸せになった飼い主のいない猫の写真展示」も同時開催。地域猫・のらねこに関する相談コーナーも設けられました。

ねこだすけの「地域猫関連パネル」は大きなスペースを割いて紹介されました。さらに「アライグマの状況」「スズメバチ対策」など、このところ広域で問題とされている事柄も取り上げられておりました。

ねこだすけ代表工藤久美子（上の写真右端）は27日の「地域猫相談」を担当しました。（レポートはチームまちねこ小西さん）



およそ15～6年程になります。裏通りのお宅が解体されたときに、親子連れの猫がねこだすけ本部事務所脇の路地に移りました。

全頭に不妊去勢手術をして見守ることを、ご

近所の皆さまと話し合いました。

エサやりは複数の皆さまの分担になり、数年のうちにはよそに移る仔もおりましたが、写真上の「お嬢（仮称）」は地域の猫ハウスで暮らし続けておりました。

それはそれは大勢の皆さま、通りすがりの多くの方々などにも見守られ可愛がられております。

ところが、11月に見守りとお世話責任者さんにごく重大な一身上のできごとがふりかかり、他県に移り住まなくてはならないことになりました。

一緒に引っ越しは叶わず、今迄と同じ様なお世話を続ける事ができませんし、15～17歳と思われる高齢です。

右の張り紙は保護することにしたことと、皆さまに可愛がっていただいた御礼です。

これからはねこだすけ工藤が、お家でお世話を引き継ぐ飼い主です。



原因、理由とその解決方法について。」をテーマに講演しました。



12月7日、NPO 動物弁護団主催

市民シンポジウム
～市民シンポジウムは、どなたさまも「無料」で参加いただけます～

動物虐待NOを！

2025年 **12.7日**
13:00-15:30 (入場無料)

入場無料
会場：東京都港区赤坂2-1-1
サンテラス赤坂 5F 大会場

講演者：竹村公利氏
講演テーマ：動物虐待の現状と課題、解決の道筋をさぐる報告、講演、ディスカッションなどを予定。

賛助会員限定で、後日録画動画の配信も計画されています。

市民シンポジウムは、どなたもご参加無料です。

かねてより動物虐待動画の法規制を提唱されている弁護士竹村公利氏の講演ほか、現状と課題、解決の道筋をさぐる報告、講演、ディスカッションなどを予定。

賛助会員限定で、後日録画動画の配信も計画されています。

華やぐデスクワーク



季節のお花と嬉しいメッセージをいただきました。

猫さん対策でお忙しい中、加藤深雪さんには折々にいつも感謝申し上げます。

【お願い】

講演会やセミナーなどで配布する資料のセットアップ作業が日常的です。ねこだすけ本部事務所でデスクワークにお手伝いいただけると助かります。